

第4学年2組 社会科学習指導案

令和3年7月15日(木)3校時
指導者 尾崎 隆宏

1. 単元名(教材名) 「ごみのしよりと利用」

2. 単元目標

- ・廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解できる。(知・技)
- ・廃棄物を処理する事業について、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業の果たす役割を考え、表現する。(思・判・表)
- ・予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことを基にごみの減量のために自分たちが協力できることを考えようとする態度を養う。(学)

3. 単元計画(全12時間)

- 第1時 ごみの分別
- 第2時 ごみのゆくえ
- 第3, 4時 もえるごみのゆくえ
- 第5, 6時 もやした後のくふう
- 第7, 8時 ごみが生まれ変わる(第7時:本時)
- 第9時 ごみしよりがかかえる問題
- 第10時 ごみしよりのくふう
- 第11, 12時 自分たちにできることを考える

4. ICT活用の分類

ICT機器	タブレット端末(一人一台 → グループ)
アプリ	JamBoard
機能	資料の拡大, 書き込み, ミラーリング
活用場面	情報の収集, 伝達

5. 本時におけるICT活用による学びの「しやすさ」とは

社会科で重視する学びの中に、「資料から学習課題につながる情報を見付け、状況、背景、理由などを考える活動」と、「資料を自分の意見の根拠として活用しながら他者へ情報の伝達する活動」がある。この2つの活動は、子供たちが未来に直面する様々な社会的事情に対して、情報を収集・整理し、物事に対して自己決定を行い、他者と関わるための能力のもととなる。

本時では、この情報の提示と伝達のための「しやすさ」の手段として、ICTを活用する。リサイクルプラザについての4種類の資料をJamBoardで個人に送信することで、紙媒体を扱う手間と時間を短縮する。また、班から全体への発表では、必要最小限のキーワードをタブレットに入力し、それぞれの班が大型モニタにミラーリングをすることで資料の提示や操作を簡潔にする。


一方、班の意見をまとめる活動では、ICTではなく画用紙と付箋を使用する。理由は、話し合いを活性化させるためである。目の前にいる班のメンバーに対して、タブレットに意見を送り合うより、直接顔を合わせて付箋でまとめる方が意見の比較や組合せが活発になると考えた。

タブレットを活用する部分と活用しない部分、学習課題の達成のためにどのようなバランスが望ましいのか、効果的に「しやすさ」が現れるタイミングについても試行したい。

6. 本時目標

資源物や粗大ごみなどのリサイクルについて調べ、不燃物の処理について話し合うことを通して、ごみの再生・再利用の取組について自分が気付いたことや理解したことを伝え合う。(思考力・判断力・表現力等)

7. 本時の展開

学習活動 ○発問 ・ 予想される子供の反応	指導上の留意点と評価 ☆ICT 活用について◎指導上の留意点 評：評価
<p>1 びんやアルミ缶などの不燃物を提示し、本時の学習課題を共有する。</p> <p>○このごみはどうなるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルされる。 ・そのまま、清掃工場以外のどこかに捨てられる。 ・神谷清掃工場で燃やされる。 	<p>◎リサイクルという意見に対して、具体的にどのようにリサイクルをするのか問い返し、疑問を持たせる。</p>
<p>様々な燃えないごみはどこでどうなるのでしょうか。</p>	
<p>2 不燃物の行先とリサイクルプラザについて調べる。</p> <p>○びんやアルミ缶は、どこに行ってどうなるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルプラザに行く。 ・それぞれのごみが種類によって分けられる。 ・砕いたり潰したりしてから溶かしてリサイクルする。 	<p>☆JamBoard で4つの資料を共有し、調べ学習を行う。</p> <p>◎グループの4人がそれぞれ異なる資料を利用することによって、様々なキーワードを拾い出すことができるようにする。</p> <p>評：資料から不燃物の処理の方法や目的、工夫などを見付け、付箋に書くことができたか。</p>
<p>(行動観察・付箋)</p> 	
<p>3 グループでまとめ、全体へ発表する。</p> <p>○グループでまとめたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの種類ごとで集め、商品になったり、新しい材料になったりする。 ・それぞれの材料によって、リサイクルのされ方がちがう。 	<p>☆全体への発表に向けて、記しておきたいキーワードをJamBoard 上に書き込む。ミラーリングを行い、情報の共有をはかる。</p> <p>評：資料をもとに全体へ調べた内容を伝えることができたか。 (付箋・画用紙・行動観察)</p> <p>◎鳥取県東部の不燃物は鳥取県東部環境クリーンセンターで処理されることを紹介する。</p>
<p>4 学習のまとめとし、リサイクルすることのメリットについて意識を向ける。</p> <p>○リサイクルするのはそんなに大切なことなのでしょうか。</p>	<p>◎リサイクルをしないとしないでは、何が違うのかを問いかけ、次時の学習につなげる。</p>
